

高校生世代への学習・相談支援事業における大学進学等に向けたオンライン学習支援

学習面の支援の強化

現状

高校生世代への学習・相談支援事業において、タブレット端末を活用したオンライン学習支援サービスを希望者に配布し、会場で活用することで、個々の学力や目的に応じた学習面の支援を実施している。また、自宅等への持ち帰りも可能としている。

課題

利用者数の低迷が続いている
R3.3：69人⇒R6.3：47人

【要因】

- ・学校や塾でも同様の学習サービスがあるため、必要がないと返答される。
- ・学校でタブレットやアカウントを持っているなど、わざわざ違うアカウントで利用したいというニーズが見られにくい。など

(R5会場業務受託者へのアンケート)

R7～実施

現状と同様の対象者に対して、夏休み・冬休みの長期休暇において、オンラインでの個別指導型の学習支援を実施する。受講期間中の学習支援の状況等については、普段通っている学習支援会場に情報提供し、普段の支援に活用する。この個別指導の中で、進学に向けた学力も含めた児童自身の立ち位置を把握してもらいながら、受験に向けての順序だてや戦略等についても指導していく。

※令和6年度においてオンライン学習支援サービスを利用しており、令和7年度も引き続き利用を希望する児童については、既存のオンライン学習支援サービスが利用ができるものとする（個別指導型学習支援とは選択制）。

業務概要（案）

業務委託する受託者を企画競争により選定することで、より効果的な方法での実施を想定

①周知及び利用申込の受付

募集対象：高校生世代への学習・相談支援事業参加者（500人程度）

オンライン学習支援対象者（希望者）：135人程度（想定）

②学習プランの作成

個別学習面談の中で学習計画の立て方や勉強法についてのアドバイスを行ったうえで、対象者の現状と目標を踏まえた学習プランの作成を行う。

③オンライン学習支援実施

夏季休暇期間及び冬季休暇期間に対象者ごとに作成した学習プランに沿って、オンラインによる双方向型の少人数での個別学習支援を実施する。また、夏季休暇及び冬季休暇の各オンライン学習支援期間の終了後、支援結果についてアセスメントを行い、対象者へフィードバックを行う。

実施概要

対象者1人当たりの実施回数：夏季休暇⇒20回、冬季休暇⇒6回（1回約2時間）
対象者4人以内に対し、学習支援員1名が対応。

④会場事業者への情報提供

各オンライン学習支援期間の終了後、各対象者の学習プラン、オンライン学習支援の実施状況及び対象者へのフィードバック内容等について、対象者ごとに参加している会場の受託事業者に対して、普段の支援の参考にできるように情報提供を行う。

年間の実施フロー（想定）

